

ポリス&カレッジ2025 in KYOTO

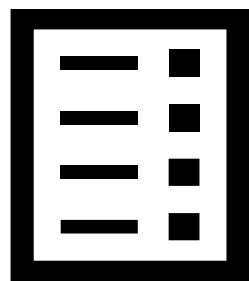
学んで伝える交通安全

~Everyone's knowledge saves Everyones's Lives~

「交通安全スタンプラリー～」

京都産業大学 岡本ゼミナール

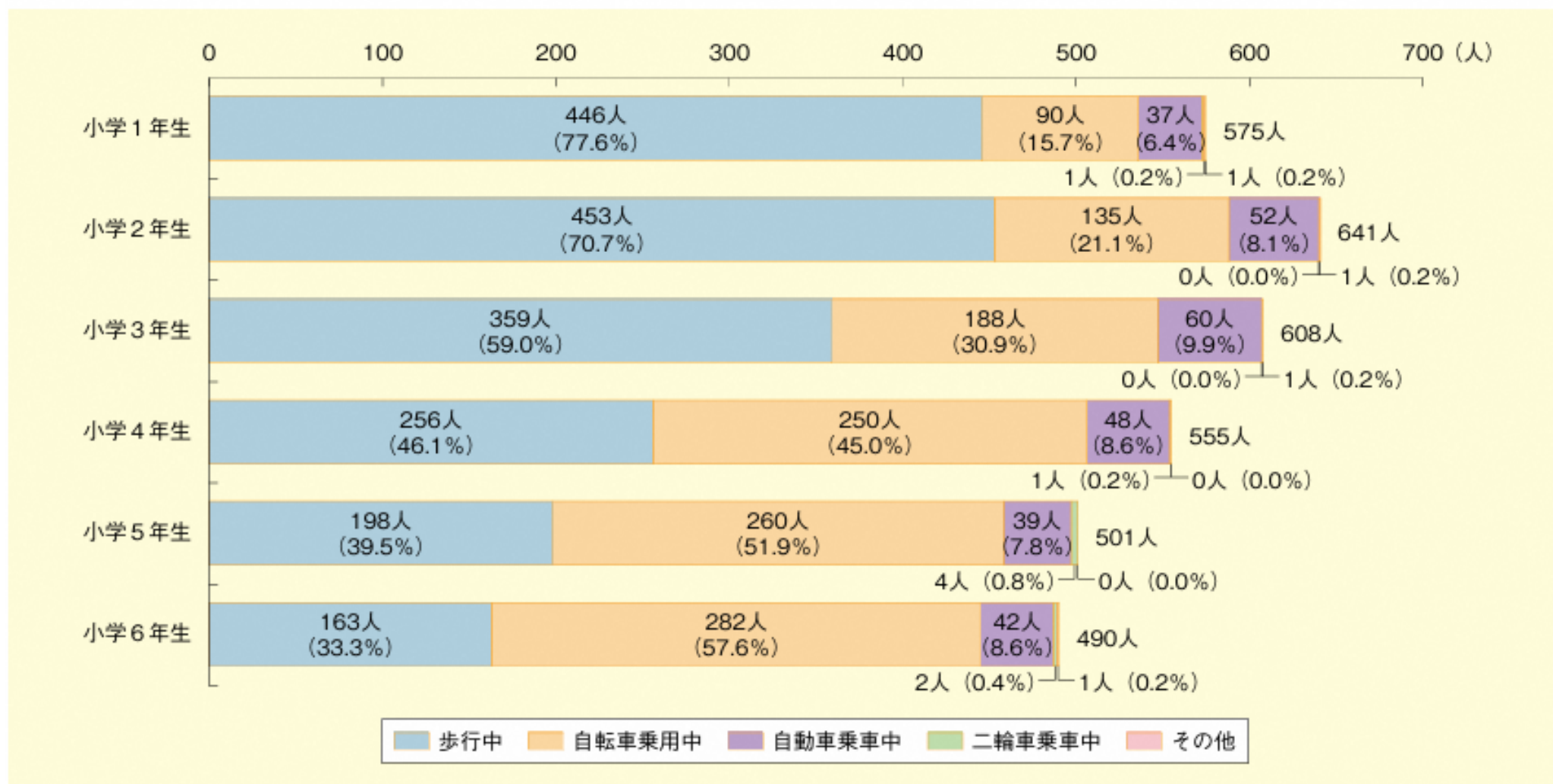
目次



- 現状分析
- 提案
- 参考文献

現狀分析

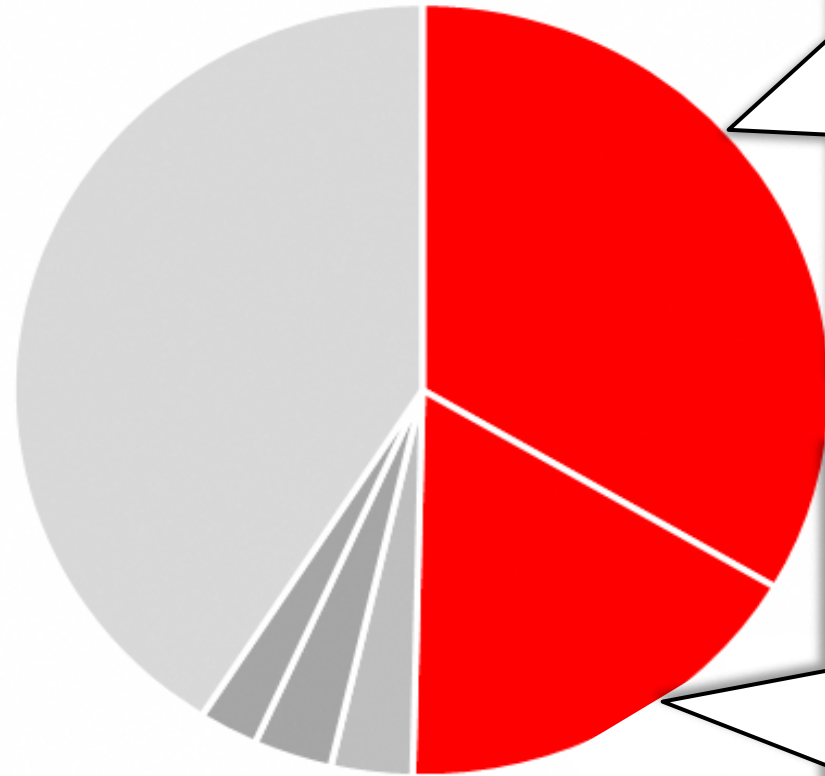




注 1 警察庁資料による。

2 構成割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とにならない。

歩行中の法令違反等交通事故死者・重傷者数 (令和2年～6年の合計、第1・第2当事者の合計)



飛び出し
約

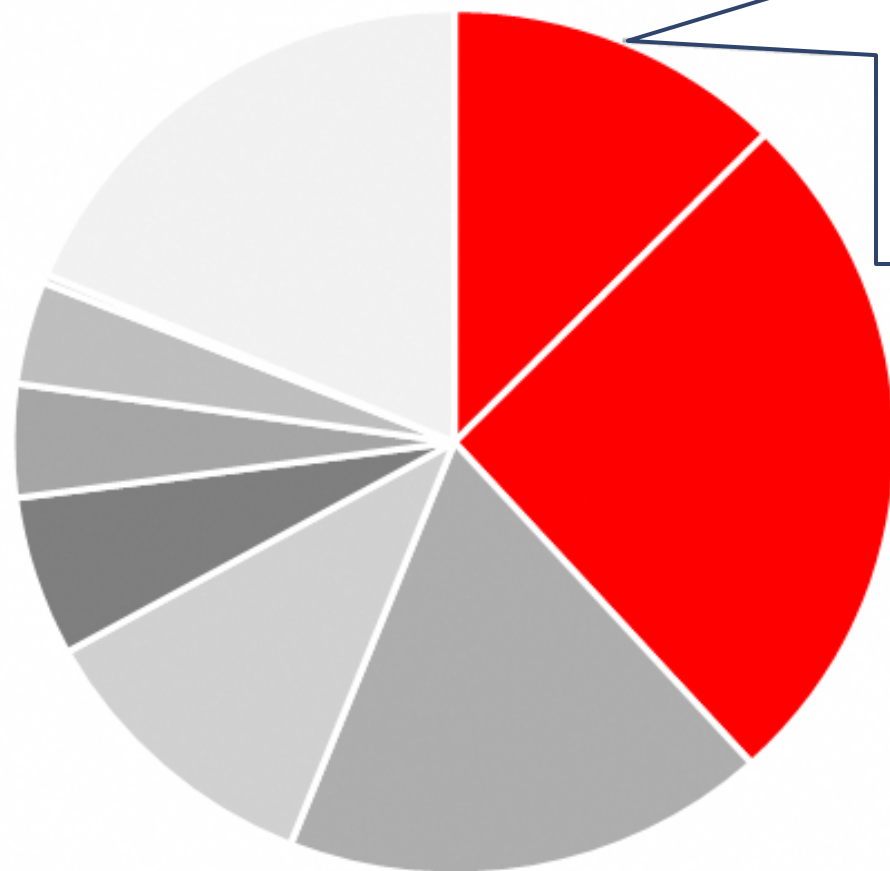
33.5%

横断違反
約

16.9%

第1当事者・・・最初に交通事故に関与した事故当事者のうち、最も過失の重い者をいう
第2当事者・・・最初に交通事故に関与した事故当事者のうち、第1当事者以外の者をいう。

歩行中の通行目的交通事故死者・重傷者数 (令和2年～6年計)



登校中
約

12.4%

下校中
約

25.8%

➡小学生の交通人身事故の特徴(令和2年～令和6年)

1年生から3年生➡歩行中

飛び出し：33.5%

横断違反：16.9%

※目的別では、通学等が38.2%である。

分析→問題点

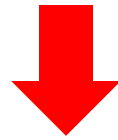
小学生は**飛び出し**、**信号無視**、**周囲確認不足**などを起こしやすい。

👉 これらの事故の原因はドライバーが細心の注意を払っていても防ぐことができない！！



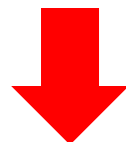
私たちの意見

①小学生側から事故発生の防止を意識してもらう必要がある。



交通事故発生予防にとって重要であると考えます。

②小学生は学年が上がると児童だけで行動する場面が増える。



より早い時期に交通安全について知っておくべきである。


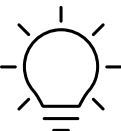
提案



交通安全スタンプラリー～ ～てくてく大作戦～

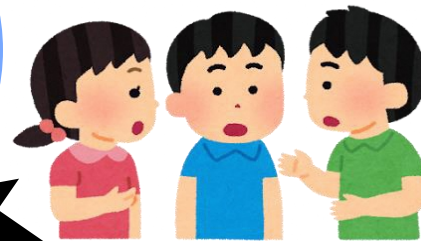


私たちの狙い

-  通学路内の危険な場所で被害者になる可能性の高い小学生側が **自分たちで調べ、学び、理解**してもらおう！（交通量が多い場所、狭い道等）
➡ **自分の安全を自分で守る意識を持ってもらう。**
-  スタンプラリーという**ゲーム要素**を取り入れることによって交通安全に興味をもってもらう！！

概要【学年別役割】

5.6年生:
マップ作成



3.4年生:
スタンプ
台紙作成



1.2年生:
スタンプ
らり～!!



5・6年生

- 警察官に危険な場所の特徴を教えてもらった後に、授業時間を使い自分たちがよく使う通学路で危険な場所を探しに行き、マップを作成。

【意図】

- 4、5年間の通学経験を存分に活用してもらう。
- 小学生の視点から、大人にはわからない危険な場所を発見することも可能。



3・4年生

- 5・6年生が作成したマップを参考にスタンプの設置場所を検討。スタンプを押す台紙の作成も担当。

【意図】

- 3・4年生は学校教育で「地図記号」「方位」などを学ぶ時期であり、危険箇所を把握する活動は地図を読む学習内容と合致する。
- 1・2年生時の実体験をもとに、下級生がより積極的に参加するよう、意見を提案する。



1・2年生

- 警察官同伴の上、参観日などを活用し、スタンプラリー~を実施

【意図】

児童たちにも安全意識をつけさせると同時に、保護者にも再認識してもらう。

- 警察官と小学生の間で絆をつくる。
- 警察官同伴で実施することで、警察官への信頼感と親しみやすい印象を育む。
- 警察官への憧れを持たせることも期待できる。



まとめ

▶ 5・6年生：

授業時間を使い自分たちがよく使う通学路で危険な場所を探しに行き、マップを作成する。

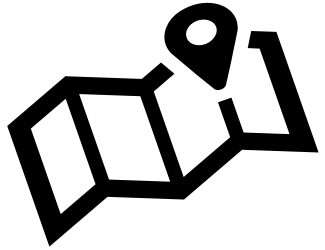
▶ 3・4年生：

高学年のマップを参考にスタンプの設置場所を考え、またスタンプ台紙作成を行う。

▶ 1・2年生：

警察官同伴の上、参観日などの時間にスタンプラリー~を行う。

期待できる効果①



自分たちで交通安全マップを**作成**することによって、既存のマップを見るよりも理解が**インプット**されやすくなることが考えられる。



期待できる効果②

子供たちに危険な場所を

認識させるとともに、

安心安全を**意識**してもらおう。



期待できる効果③

警察官同伴で行うことで、
信頼を高め、親しみやすい存在だと
理解してもらうことができる。



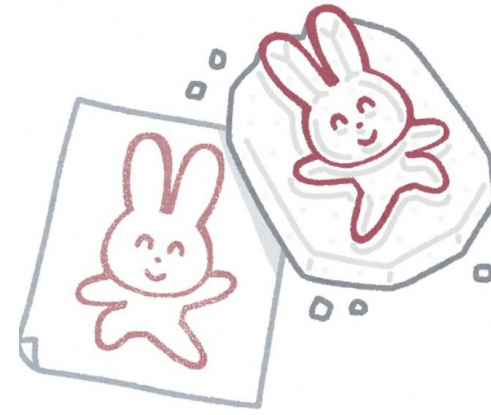
また**憧れられる**きっかけができる。

費用【スタンプ代】

既存のスタンプを使用すれば **0円**！



外注する場合



オリジナルスタンプ
→ (例) 22mm × 22mm
1個あたり**1140**円

10個	11,400円
30個	34,200円
50個	57,000円

3・4年生にデザインをしてもらう

手作りの場合

某S社1 . . . 色：薄茶

特徴：薄く、固い

サイズ：約148×100×5mm

某S社2 . . . 色：白

特徴：厚く、柔らかい

サイズ：約100×74×10mm

某D社1 . . . 色：青←白→黄 リバーシブル

特徴：薄く、柔らかい

サイズ：約100×80×6mm


某D社2 . . . 色：青

特徴：薄く、固い

サイズ：約148×100×5mm

一個当たり **110円**

副作用・対策

 小学生がマップ作成時やスタンプラリー~を行う際に危険な場所へ行くため、新たな事故が起こるのではないか。

➡ 警察官や先生・保護者同伴のため、安全確認をしながら行ってもらうことができる。



交通安全スタンプラリー～

～てくてく大作戦～



参考文献

内閣府「令和6年度交通事故の状況及び交通安全施策の現況令和7年度交通安全施策に関する計画（令和7年版交通安全白書）」3, 5ページ（令和7年6月）

https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r07kou_haku/pdf/gaiyo.pdf

内閣府「特集 通学路における交通安全の確保について」4ページ（令和7年7月）

https://www8.cao.go.jp/koutu//taisaku/r07kou_haku/pdf/zenbun/f.pdf

国土地理院「第18回（令和6年）みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト（京都）」（2024年2月17日）

<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/SAKUHIN/28sakuhin-kyoto.html>

政府広報オンライン「小学校1年生の歩行中の死者・重傷者は6年生の約2.9倍。新1年生を交通事故から守るには？」（2025年6月30日）

<https://www.gov-online.go.jp/article/201804/entry-8077.html>

めざましmedia 「『7才の交通安全プロジェクト』 夏休み前に、まちの危険スポットを確認『私のまちの7才の交通安全ハザードマップ』 バージョンアップ」 (2025年7月7日)

<https://mezamashi.media/articles/-/171449>

文部科学省 「【資料4】授業時数特例校制度について(概要)」 (令和3年6月28日)

https://www.mext.go.jp/content/20210629-mxt_kyoiku01-000016453_4.pdf

日刊警察「京都府西京署で『こども110番のいえスタンプラリー』」 (2020年9月14日)

<https://nikkankeisatsu.co.jp/news/200914-3.html>

ゴム印の専門店【ゴム印鑑.com】「ゴム印データ入稿：22×22mm」

<https://www.gom-in.com/shop/item/GO-KJ-DS-2222.html>

記念スタンプを集めよう！ | 博物館の記念スタンプ

<https://stamp.otimusya.com/museum.html>

私鉄スタンプ収集旅日記・京都地区(#416) 第6話 京の令和ラリー

<https://nonban.travel.coocan.jp/stamp/kyoto/kyoto-reiwa.html>



ご清聴ありがとうございました

京都産業大学 岡本ゼミ